

## 令和8年度 インバウンド市場における道産水産物プロモーション委託業務処理要領

### 1 目的

この要領は、北海道（以下「委託者」という。）が受託者に委託する「インバウンド市場における道産水産物プロモーション委託業務」を、円滑かつ効果的に運営するために必要な事項を定めるものとする。

### 2 業務内容

受託者は、本道を訪れる外国人旅行者を対象として次の事項を実施すること。ただし、韓国人及びマレーシア人が対象となるよう最大限努めること。

#### (1) 実施内容

##### 1) 事前 PR（旅マエ）

札幌市及びその近郊の飲食店や宿泊施設等（以下、「道内飲食店等」という。）やマレーシア国内の量販店等（以下、「現地量販店等」という。）で行うプロモーションを周知するため、次の内容を踏まえた PR コンテンツを作成し、配信すること。

- ・ SNS 等を活用し、国内及び海外において広く配信すること。
- ・ 主要ターゲットである韓国及びマレーシアからの旅行者に確実に訴求する方法を提案すること。

##### 2) 道内プロモーション（旅ナカ）

次の内容のプロモーションを実施するにあたり、道産水産物の魅力が伝わる POP やポスター等の素材を作成し、PR すること。

###### ア 道内飲食店等と連携したプロモーションの実施

- ・ 道内飲食店等において、道産水産物を使用した料理を提供すること。
- ・ 事業実施に適した飲食店等を 5 施設以上選定し、各施設 14 日以上実施すること。
- ・ 道産水産物は、ホタテ、秋サケ、タラ類及びカレイ類を中心に、旬に応じた北海道らしい魚種を選定すること。なお、魚種の選定については、成長産業課と協議すること。
- ・ メニューの決定にあたっては、海外の食文化や食習慣、嗜好性等に配慮するとともに、道産水産物の魅力を生かした献立となるよう工夫すること。

###### イ 道内イベントと連携したプロモーションの実施

- ・ インバウンドの集客が見込まれるイベントや観光施設等を活用し、物販や試食、試供品の提供等を通じて道産水産物を PR すること。
- ・ 道産水産物は、ホタテ、秋サケ、タラ類及びカレイ類を中心に、旬に応じた北海道らしい魚種を選定すること。なお、魚種の選定については、成長産業課と協議すること。

##### 3) 海外プロモーション（旅マエ・ナカ・アト）

マレーシア国内において、イベント開催等に適した現地量販店で、道産水産物・水産物加工品等の販促キャンペーンを実施すること。

- ・ 開催日数は土日を含めた 2 日間以上とすること。
- ・ 店舗と連携し、店頭での PR（ポスターやデジタルサイネージ等）のほか、SNS を活用した効果的な PR 手法により集客を図ること。

- ・試食を提供し、道産水産物に馴染みのない消費者に対し購買意欲を高めるよう努めること。
- ・道産水産物は、ホタテ、秋サケ、タラ類及びカレイ類を中心に、旬に応じた北海道らしい魚種を選定すること。なお、魚種の選定については、成長産業課と協議すること。

## (2) データ収集と分析・考察

### 1) データ収集

- ・(1)の2)の各取組について、料理や試食等提供時の対象者の感想や反応等についてデータ収集し傾向等をまとめること。
- ・(1)の3)の取組について、マレーシアの消費者の感想や反応等についてデータ収集し傾向等をまとめること。

### 2) 分析

- 1)で収集したデータや傾向のほか、マレーシア国内の水産物の消費・流通動向についてとりまとめ、本事業の成果と課題を分析すること。

### 3) 考察

- 1)及び2)を元に、インバウンドを通じた今後の道産水産物のさらなる海外普及について考察するとともに、新たな需要の創出につながる取組を企画提案すること。

## (3) 業務の管理

### 1) 業務処理計画書の作成

- 委託業務に係る契約締結後、速やかに業務処理計画書を作成すること。なお、業務処理計画書には、目的、業務概要、実施内容、業務組織図、実施体制、業務工程表、打合せ計画、連絡体制の他、必要な事項を記載すること。

### 2) 進捗状況の報告等

- 各段階（事業着手、事業実施中、事業完了）において、委託者に対して進捗状況を報告するとともに、実施内容の決定にあたっては適宜委託者と協議すること。また、計画に変更が生じた場合や社会情勢の変動に対応する必要がある場合には、速やかに委託者と協議してその指示を仰ぐものとし、必要に応じて業務処理計画書を変更して提出すること。

### 3) 業務の報告

- 全ての業務が終了後、速やかに受託者に写真等を用いて実施内容を報告すること。

## (4) 業務処理責任者等選定通知書

- 受託者が、委託契約書第6条の規定に基づき委託者に業務処理責任者を通知する場合は、業務処理責任者等選定通知書によるものとする。

## (5) 実績報告等について

- 受託者が、委託契約書第11条の規定に基づき提出する実績報告等については次のとおりとする。

### 1) 実績報告書

- 実施した全ての内容を記載した「詳細版」を作成すること。なお、業務の成果や課題を分析した上で考察を行うこと。また、北海道のホームページで公開することを前提とした「概要版」を作成すること。

### 2) 成果品

## (6) 成果品について

1) 事業実施報告書

紙媒体：製本 A 4 版 3 部、電子媒体：1 枚

2) プロモーションに使用した素材・媒体等

紙媒体各 3 部、電子媒体：1 枚

3) 写真

提供された料理の写真（1 品ずつ撮影すること）

プロモーションの様子等が分かるもの

電子媒体：1 枚

※電子媒体は、CD-R 又は DVD-R とし保存データが分かるようにラベリングすること。

(7) 事業実施における留意事項

1) 製品の適切な管理

献立や試食等で提供する製品の衛生管理について、必要な措置を講じること。

2) 主催者の明示等

プロモーションにあたっては、北海道が主催であること又は北海道からの委託によるものであることを明示すること。また、令和 6 年度香港及び台湾における道産水産物加工品販路拡大委託業務で使用したイベントロゴを効果的に活用すること。

3) 対象者・国への配慮

言語やデザインなど、対象者の文化や宗教に配慮すること。

4) 事業連携

同様の委託事業がある場合は、各受託者と調整のうえ、プロモーションの一体的な告知や同日開催など、連携した事業展開に努めること。また、JETRO や農林水産物・食品輸出支援プラットフォームといった関係機関や団体等と連携することで事業の相乗効果を得られるよう努めること。

3 再委託の留意事項

(1) 次のような場合は、再委託を認めない。

1) 委託業務をそのまま全部再委託する場合

2) 委託業務の主要な部分を再委託する場合

(2) 再委託の必要があると認められ、次の要件を満たす場合は、再委託を承諾する。

1) 再委託させようとする第三者に受託者の総合的な管理・指導が及ぶとともに、技術的、経済的能力から判断して、再委託させても契約の履行を確保するのに支障を来たさないとき。

2) 再委託することに合理的な理由があるとき。

3) 再委託することにより、受託者を選定した理由に矛盾を生じるものでないとき。

(3) 再委託の手続きを行う場合には、次の事項を徹底すること。

1) 再委託させようとする第三者の商号又は名称及び住所、再委託する業務の範囲、再委託する理由及び必要性等を記載した書面を提出すること。なお、変更がある場合には、遅滞なく、変更の届出を提出すること。

2) 受託者は再委託させようとする第三者から法令等を遵守する旨の誓約書を徴取し、その写しを委託者に提出すること。

3) 受託者が再委託の承諾を得た場合、受託者が再委託する第三者の管理・監督を行うこと。

#### 4 取得財産の管理について

- (1) 委託業務の実施により取得した財産は、取得後、速やかに財産管理台帳に登録し、善良な管理者の注意をもって管理するとともに、業務終了後、財産台帳の写しを委託者に提出すること。
- (2) 成果物及び構成素材に含まれる第三者の著作権その他の権利についての交渉・処理は、受託者が納品前に処理を行うこととし、その経費は委託費に含む。

なお、成果品及び成果品に附帯する著作権等一切の権利は、全て北海道に帰属するものとする。

#### 5 その他

- (1) 受託者は、委託期間中、定期的に業務の遂行状況を委託者に報告しなければならない。  
なお、報告の時期については、別途委託者との協議により設定する。
- (2) この要領に定めがない事項については、委託者と受託者とが協議により定めるものとする。